

令和7年度

シラバス

～1年間の学習の流れ～



3年生

鈴鹿市立創徳中学校

「シラバス」 Syllabus とは、ギリシャ語に語源を持つ言葉で、「各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法

などを記した総合的な学習計画」のことで、各教科・領域の学習において

- ① 基礎基本の定着と活用能力の育成
- ② 基盤の学力を身に付けるための学習習慣の定着
- ③ 表現力（話す・聞く・書く）の育成

をめざし、1年間の授業の流れを見通して、学習計画を作成しました。

このシラバスには、次のような3つの意義があります。

(1) 生徒の皆さんが、より計画的・主体的に授業に取り組めるよう、1年間の学習の「道しるべ」としての意義

(2) 生徒の皆さんはもちろん、保護者や地域の皆様へ、本校の教育の様子についてお知らせする意義

(3) お知らせした教育の様子をもとに、よりよい教育の実現をめざしてご意見をいただくための基礎的な資料としての意義

中学校の3年間は、人間の一生の中で最も成長著しい時期にあたります。特に、今年度は新学習

指導要領が全面実施され、ChromeBook も一人一台配備され、活用していく初年度となります。新たに学

ぶことが増えたり、大事なことが重点化されていきます。私たち教職員は、この大切な時期に、生徒

の皆さんが、このシラバスをよりどころとして、気持ちを一新して意欲的に学習に取り組んでくれること

を心から期待します。また、本校の教育が保護者や地域の皆様にご理解とご支援をいただきながら、

充実・発展していくことを願っています。

第3学年 国語

学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書：「国語3」（光村図書） 「中学書写 一二三年」（光村図書） 副教材：国語の学習（明治図書） 文法の学習（新学社） 学習の達成（新学社） くりかえし漢字3（秀学社）	持ち物	・教科書 ノート ・副教材（必要に応じて）
学習の進め方	＜確かな学力を身につけるには＞ ・社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけて、読書、古典、文法、表現、書写、漢字、語句の意味などの言語文化に親しみ、理解できるように心がけましょう。 ・論理的に考えたり、共感・想像したりする力をつけて、人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを深めたり高めたりしましょう。 ・言葉がもつ価値を認識し、読書を通して自分を向上させ、日本の言語文化に積極的に関わりましょう。 ＜家庭学習では＞ ・「くりかし漢字3」で漢字練習をしましょう。 ・復習に「国語の学習」を使いましょう。 ・本や新聞を読む習慣を身につけましょう。 ＜定期テストでは＞ ・1学期2回（中間・期末）2学期2回（中間・期末）3学期1回（学年末）合計5回の定期試験を行います。「くりかえし漢字3」や「国語の学習」のほか、「学習の達成」のプリントで試験範囲を復習しましょう。文法は「つまづかない文法の学習」やスタディプロジェクトで復習しましょう。 ・学習内容について、知識技能と思考判断表現のバランスを偏りなく勉強しましょう。		
学習上の注意	「授業はみんなで創るものです」 ・丁寧に教科書を読んで、集中して授業に取り組みましょう。 ・忘れ物がないようにしましょう。 ・提出物の期限を守りましょう。 ・正しいことばで話すことを心がけましょう。人の意見をしっかりと聞き、相手に伝わる話し方を心がけましょう。 ・ていねいで、見やすいノート作りを心がけましょう。板書をただ写すだけではなく、自分の意見や友達の意見も積極的に書き込むなど工夫したノート作りを心がけましょう。		

学習内容および評価規準

学習計画			
	月	単 元 計 画	
一 学 期	4	「世界はうつくしい」「握手」 「漢字に親しもう1」「聞く」	中 間
	5	「文法への扉1」 「説得力のある構成を考えよう」 「言葉1」「学びて時に之を習ふ」 「作られた『物語』を超えて」	
	6	「思考のレッスン」 「論理の展開を意識して書こう」 「漢字1」「漢字に親しもう2」 「俳句の可能性」「俳句の創作教室」 「俳句を味わう」 「言葉の釣り糸を垂らす」	
	7	「言葉2」「語彙を豊かに」 「実用的な文章を読もう」 「報道文を比較して読もう」 「情報整理のレッスン」 「読書を楽しむ」 『私の一冊』を探しにいこう 書写	
二 学 期	9	「挨拶」「故郷」「推敲」「言葉3」	中 間
	10	「聞き上手になろう」「漢字2」 「複数の意見を読んで、考えよう」 「考えを効果的に伝えよう」 「漢字に親しもう3」 「文法への扉2」「初恋」	
	11	「和歌の世界」「音読を楽しむ」 「君待つと」「和歌の表現技法」 「俳句と俳諧」「つながる古典」 「古典名作選」	
	12	「それでも、言葉を」「漢字3」 「漢字に親しもう4」「話し合い」 「合意形成に向けて話し合おう」 「本は世界への扉」	
三 学 期	1	「温かいスープ」 「アラスカとの出会い」「律儀な桜」	学 年 末
	2	「わたしを束ねないで」 「三年間の歩みを振り返ろう」 「初日」「漢字に親しもう5」	

評価にあたって		
評 価 の 観 点		評価の方法
知識・技能	・常用漢字の大体が読めて文章の中で使えるか。 ・慣用句などの理解を深め話の中で使えるか。 ・敬語を場に応じて使えるか。 ・情報の信頼性を確かめ、具体抽象の関係を理解しているか。 ・歴史的背景に注意して古典を読み、引用するなどして使えるか。 ・文字文化に触れ、効果的に書けるか。 ・生き方や社会との関わり方に結びつくような読書ができるか。	○小テスト ○定期テスト ○課題
	思考・判断・表現	○授業の様子 ○小テスト ○定期テスト ○課題
主体的に学習に取り組む態度	・目的に応じて社会生活の中から題材を決め、集めた情報の信頼性を確認し、多様な考えを想定しながら、伝え合ったり書いたりできるか。 ・論理的展開を考えて表現を工夫したり、評価したりして、自分の考えを深めることができたか。 ・論理や展開の仕方をとらえ、批判的に読んだり評価したりして考えを広げられるか。	○課題の取り組み状況 ○授業の様子
	・自ら進んで学習課題に取り組むことができるか。 ・よりよい表現や理解を求めて改善しようとする探求心があるか。 ・話の展開に合わせて意見を述べたり、他者の意見を受けてさらに理解を深めたりできるか。	

第3学年 社会

学習教材および学習の進め方

使用教材	新しい社会 公民（東京書籍）新しい社会 歴史（東京書籍） 公民資料（正進社） 未来へつなぐ歴史資料集（新学社） 社会の自主学習 歴史23（新学社） 社会の自主学習 公民（新学社）	持ち物	・教科書・資料集 ・ファイル・ワーク ・chromebook
学習の進め方	<確かな学力を身につけるには> 社会科は、さまざまな分野の学習を行う教科です。もちろん知識も大切ですが、用語を暗記するだけでは社会科の力はつきません。社会科で大切なことは、つながりを考えるということです。そのつながりを考える土台として、知識が必要になります。最近の入試では、「なぜ」を問うような記述問題も多く出題されます。なによりも暗記だけの勉強では面白くありません。つながりがわかり、「なぜか」を理解したほうが憶えやすく、興味も湧いてきます。「なぜか」と思ったときは、先生に聞いたり、資料集やクロームブックを使って調べてみたりしましょう。わからないものはそのままにせず、その日のうちにわかるように努めましょう。 <家庭学習（歴史）> 歴史では、時代ごとに一番重要なことを抜き出してまとめます。そのときにできるだけ少ない事柄だけにします。その時代がどうやって始まり、どう終わったのか。重要な出来事は何か、プリントを使って学習していきます。 授業があったその日にワークを解くことを心掛けましょう。わからない問題があった場合は教科書や授業プリントを見て解いて、次に解くときは全問正解できるようにしましょう。 <家庭学習（公民）> 公民では、基本的な社会のしくみについて学びます。学習を進めていく中で、現在の社会情勢と関係のある事柄も学ぶことがあります。日ごろからニュースを見ることで、時事問題について考えるきっかけにもなり、学びが深まります。 イラストや関係図を描くことで、分かりやすくなるでしょう。ワークも一週間に一度のペースで進め、わからない問題は教科書や授業プリントを見て解いて、次に解くときは全問正解できるようにしましょう。		
学習上の注意	予習より復習をメインに家庭学習を行いましょう。社会科の授業は週に4回あります。1週間の中で、社会科の勉強をする日を設定し、最初は学習ノート、次にワーク本誌を解くようにしましょう。 授業は積極的に参加し、ペアやグループで意見を交わしたり、相談したりする場面が多くなります。積極的に話し合いに参加し、友達の意見を参考にすることで、さらに自分自身の社会的思考力を深めていきましょう。分からないことはできる限り、その日のうちに解決していきましょう。		

学習内容および評価規準

学習計画			
	月	単 元 計 画	
一 学 期	4	歴史的分野 第5章 日清・日露戦争と近代産業 第6章 二度の世界大戦と日本	中 間
	5	第一次世界大戦と日本 大正デモクラシーの時代	
	6	世界恐慌と日本の中国侵略 第二次世界大戦と日本	
	7	第7章 現代の日本と世界 戦後日本の出発 冷戦と日本の発展 新たな時代の日本と世界	期 末
		公民的分野 第1章 現代社会と私たち 現代社会の特色と私たち 私たちの生活と文化 現代社会の見方や考え	
二 学 期	9	第2章 個人の尊重と日本国憲法 人類の歴史と憲法 人権と共生社会 これからの人権保障	中 間
	10	第3章 現代の民主政治と社会 現代の民主政治 国の政治の仕組み 地方自治と私たち	
		第4章 私たちの暮らしと経済 消費生活と市場経済 生産と労働	
	11	市場経済の仕組みと金融 財政と国民の福祉 これからの経済と社会	期 末
		第5章 地球社会と私たち 国際社会の仕組み	
	12	さまざまな国際問題 これからの地球社会と日本	
三 学 期	1	3年間の復習	学 年 末

評価にあたって		
評 価 の 観 点		評価の方法
知識・技能	歴史的・地理的事象の意義や特色，相互の関連を理解し，その知識を身に付けている。	定期テスト 発表内容
	地理的・歴史的・社会的・経済的事象から課題を見いだし，社会的・経済的事象の意義や特色，相互の関連を多面的・多角的に考察し，社会の変化を踏まえ公正に判断して，その過程や結果を適切に表現している。	定期テスト 発表内容
思考・判断・表現	地理的・歴史的・社会的・経済的事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択して，効果的に活用している。	定期テスト 発表内容
	主体的に学習に取り組む態度	定期テスト 発表内容 提出物 パフォーマンス課題

第3学年 数学

学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書 『未来へひろがる数学3』（啓林館）	持ち物	左記以外に ファイル 筆記用具 直定規 コンパス（必要に応じて）
学習の進め方	確かな学力を身につけるには 数学の学習を「問題を解く」ことだと思っていないですか。数学でも、ほかの教科と同じように「どうなるのかな？」と予想したり、実際に実験をして確かめたり、みんなで話し合いをして、考えを深めながら解決したりすることなども、とても大切です。 【知っていることをもとにして、新しいことを「発見する力」を身につける】 与えられたことをただ学ぶのではなく、すでに学んだことをもとにして、どんなことがわかるかな、どうすればいいかな、どうなるかなと考えながら、学習に取り組みましょう。すると、新しい性質や考え方を自ら発見できるようになり、いっそう数学のよさやたのしさを実感することができます。 【学んだことを「利用する力」を身につける】 数学では、学んでいく中でたくさんの知識や考え方を身につけていきます。知識を増やしていくことは、たくさんの道具を持つことと同じです。しかし、道具を使わなければ意味がありません。この身につけた知識や考え方を数学の問題だけではなく、身のまわりの問題にも活用することでより確実なものになっていきます。 【自分の考えを「表現する力」を身につける】 数学に限らず、自分の考えをことばや文字で表現することはとても大切なことです。数学の学習では、自分の考えを伝えようとすることで、筋道立てて考える力が身につきます。 【「記録する力」を身につける】 黒板に書かれたことを写すだけではなく、先生の説明やほかの人の発言で、大切だと思ったこと、疑問に感じたこと、自分で考えたことなども書き加えておきましょう。そうすることで、学習したことからのより深く理解できるようになります。 家庭学習では たくさんの問題を解くことで数学の力は身につけていきます。宿題が出されたら、その日のうちに取り組みましょう。分からなくなった場合は、教科書からよく似た問題を探したり、解答を参考にしたりするなど、「問題の解き方」を理解しましょう。授業中に間違えた問題も同じように学習することで理解を深めましょう。		
学習上の注意	授業の準備は早めに行い、忘れ物をしないようにしましょう。 振り返りシート・レポート・問題集などの提出物は、期限を守って提出しましょう。 日ごろから授業の復習をしっかりと行い、テスト前に慌てることがないようにしましょう。 授業に積極的に取り組みましょう。 話し合うときには → 自分の意見は、具体的に分かりやすく伝えよう。 発表するときには → 自信をもって、大きな声で発表しよう。 発表を聞くとときには → ほかの人の意見と自分の意見をくらべながらしっかり聞こう。 まとめるときには → 自分の考えがよく伝わるようにていねいな文字で、図や表なども利用してわかりやすくまとめよう。		

学習内容および評価規準

学習計画			
	月	単 元 計 画	
一 学 期	4	1章 式の展開と因数分解 ○ 式の乗法, 除法 ○ 乗法の公式 ○ 因数分解 ○ 式の計算の利用	中 間
	5	2章 平方根 ○ 平方根 ○ 平方根の値 ○ 有理数と無理数 ○ 真の値と近似値	
	6	○ 根号をふくむ式の乗法, 除法 ○ 根号をふくむ式の計算 ○ 平方根の利用	
	7	3章 二次方程式 ○ 二次方程式とその解き方 ○ 二次方程式の解の公式 ○ 二次方程式と因数分解 ○ 二次方程式の利用	
	9	4章 関数 ○ 関数 $y = ax^2$ ○ 関数 $y = ax^2$ のグラフ ○ 関数 $y = ax^2$ の値の増減と変域 ○ 関数 $y = ax^2$ の変化の割合	中 間
	10	○ 関数 $y = ax^2$ の利用 ○ いろいろな関数	
	11	5章 図形と相似 ○ 相似な図形 ○ 三角形の相似条件 ○ 三角形との相似条件と証明 ○ 平行線と線分の比 ○ 中点連結定理 ○ 相似な図形の面積 ○ 相似な立体の表面積・体積	
	12	○ 相似の利用 6章 円の性質 ○ 円周角と中心角 ○ 円周角の定理の逆 ○ 円周角の性質の利用 7章 三平方の定理 ○ 三平方の定理	
二 学 期	1	○ 三平方の定理の利用 8章 標本調査 ○ 標本調査の方法 ○ 母集団と標本の関係	期 末
	2	中学3年間の総復習	
	3	入試対策	
三 学 期			学 年 末

評価にあたって		
評 価 の 観 点		評価の方法
知識・技能	数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	定期テスト 単元テスト 振り返りシート 単元レポート 授業中の発言・記述・課題に取り組む姿勢など
	数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	定期テスト 単元テスト 振り返りシート 単元レポート 授業中の発言・記述・課題に取り組む姿勢など
思考・判断・表現	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養う。	振り返りシート 単元レポート ワークなどの提出物の内容 授業中の発言・記述・課題に取り組む姿勢など 定期テスト 単元テスト

第3学年 理科

学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書 未来へひろがるサイエンス3（啓林館） 副教材 グラフィック理科資料集（新学社） 理科の完全学習3年（明治図書） 学習の達成3年（新学社）	持ち物	筆記用具、クロムブック 教科書 理科資料集 ファイル ワーク（解答と学習ノートも）
学習の進め方	<確かな学力を身につけるには> ○学習課題を的確に把握し、課題に対して前向きに取り組む。 ・疑問に思ったことや、分からないことを解決する努力をする。 ・学習課題に対して多面的にみたり、考えたりする力をつける。 ○自分の良いところを伸ばし、苦手なことにも挑戦する。 ・分かったこと、課題を解決できたことに自信を持つ。 <家庭学習では> ○授業で習った部分のワークシートを見直し、次に習う新たな用語などを調べる。 ○宿題・提出物をしっかり仕上げる。 <定期テストでは> ○範囲はテスト発表時に通知する。 ○授業中に学習したことや配られたプリントをしっかりと復習しておく。 <グループ学習について> ○理科の授業では4人班でのグループ学習・実験をよく行います。 ○すばやく班の形になり、机はぴったりくっつけましょう。 ○自分で考えても分からないときには「教えて」と言いましょう。 ○「教えて」と言われたら「わかる」ようになるまで教えてあげましょう。		
学習上の注意	○チャイムが鳴るまでに授業の準備を終え、着席する。 ○授業の準備物を忘れない。 ○板書されたこと、気付いたことなど、ワークシートに工夫してまとめておく。 ○先生や友達の話や発表をしっかりと聞く。 ○ワークシート・宿題プリントなどの提出は期限を守る。 ○ワークシートのまとめなど、個人学習が早くできて余裕があるときは、資料集・予習・復習などから各自の課題を選択し、自主学習を進める。		

学習内容および評価規準

学習計画			
	月	単 元 計 画	
一 学 期	4	○運動とエネルギー ・力のつり合い ・物体の運動	中 間 期 末
	5	・仕事とエネルギー ・多様なエネルギーとその移り変わり	
	6	・エネルギー資源とその利用 ○生命の連続性 ・生物のふえ方とその成長	
	7	・遺伝の規則性と遺伝子 ・生物の種類の多様性と進化	
二 学 期	9	○化学変化とイオン ・水溶液とイオン	中 間 期 末
	10	・電池とイオン ・酸・アルカリと塩	
	11	○宇宙を観る ・地球から宇宙へ ・太陽と恒星の動き	
	12	・月と金星の見え方 ○自然と人間 ・自然界のつり合い	
三 学 期	1	・さまざまな物質の利用と人間 ・科学技術と人間 ○3年間のまとめ	学 年 末
	2		
	3		

評価にあたって		
評 価 の 観 点		評価の方法
知識・技能	・自然の事物・現象について、基本的な概念や原則・法則を正しく理解し、知識を身に付けているか。 ・実験器具を正確・安全に使えているか。 ・実験器具の使用目的を理解しているか。 ・実験観察から導き出されたことをレポートにまとめられるか。また、その結果からわかることを他の人にわかりやすく工夫してまとめられるか。	・授業中の様子 ・実技テスト ・定期テスト ・小テスト ・授業プリント ・実験レポート ・調べ学習レポート
	・自然の事物・現象の中に問題を見出し、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験を行うことができる。 ・規則性や関係性を見出して表現するなど、科学的に探究している。 ・レポートや発表の時に、図や表を用いて他の人にわかりやすくまとめる工夫がされている。	・発言、発表 ・定期テスト ・小テスト ・実技テスト ・授業プリント ・実験レポート ・調べ学習レポート
	主体的に学習に取り組む態度	・発言、発表 ・定期テスト ・小テスト ・実技テスト ・授業プリント ・実験レポート ・調べ学習レポート

第3学年 音楽

学習教材および学習の進め方

使用教材	○中学生の音楽 2・3 下（教育芸術社） ○中学生の器楽（教育芸術社） ○マイソング	持ち物	○使用教材と筆記用具 ○ファイル（楽譜やプリント等） ※Chrome が必要な時はその都度連絡します。
学習の進め方	・出欠確認と持ち物のチェックを毎時間行う。 ・【本時のめあて】を確認し、目標をもって授業に取り組む。 ・個人活動、グループ活動、全体練習などは、目的意識をもって積極的に取り組む。 ・自分のイメージや思いを仲間に自信を持って伝えたり、仲間の意見もしっかりと聴いたりして、それぞれの良さや違いを認め合う。また他の意見を聞きながら考えを深める。 ・振り返りシートに【本時のめあて】が達成されたか、また何を学べて、次に頑張りたいことは何か等を記入する		
学習上の注意	・授業前に準備物を確認し、チャイムが鳴る前に所定の座席に座る。 ・私語をせず、指導者の話をしっかりと聞く。 ・一人ひとりが協力して、グループ練習（できる範囲）や表現のための活動を行う。 ・プリントなどの配布物は、ファイルで管理する。 ・プリントの提出内容は、評価に加味する。 ・表現活動は、集中して、積極的に意欲的に取り組む。 ・鑑賞は、聴くという態度に気をつけ、適度な緊張感を保つ。 ・マナーを守って落ち着いて取り組む。		

学習内容および評価規準

学習計画			
	月	単 元 計 画	
一 学 期	4	・オリエンテーション 授業のきまり等 ・発声法、歌唱のポイント	期 末
	5	1. 歌唱「花」	
	6	2. 歌唱「花の街」	
	7	3. 鑑賞「ブルタバ」	
		4. 鑑賞「ポピュラー音楽」	
二 学 期	9	5. 合唱コンクールの取り組み	期 末
	10	6. 合唱コンクールへの取り組み ハーモニー、旋律の重なり 曲想表現の工夫 指揮と伴奏との合わせ	
	11	7. 鑑賞「ボレロ」	
	12	8. 創作「卒業式の BGM を作曲しよう」	
三 学 期	1	9. 歌唱「卒業式式歌」	学 年 末
	2		
	3	10.まとめ	

評価にあたって		
評 価 の 観 点		評価の方法
知識・技能	・創意を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。	・実技テスト
	・音楽用語や記号、曲に関する理解ができており、曲想と音楽構造などとの関わりや音楽の多様性について理解している。	・筆記テスト
思考 判断 表現	音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながら、良さや美しさを味わって聴くことができるようにする。	・曲の感想 ・演奏に関する自分の考え ・定期テスト ・活動の様子
	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現(歌唱・器楽・創作)及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・授業態度(主体的・協働的・授業の積極性) ・各種プリントの内容や完成度 ・振り返りシート ・筆記テスト

第3学年 美術

学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書 『美術2・3』 副教材 美術資料 レタリング字典	光村図書 秀学社 秀学社	持ち物	左記以外に 絵の具セット（必要時のみ） 色鉛筆 筆記用具 ファイル スケッチブック（美術室保管）
学習の進め方	<確かな学力を身につけるには> - 授業で指示される制作のポイントをしっかりと把握し、意欲的に課題に取り組もう。 - 自分の良さを伸ばし、上手いかないことがあっても諦めないで最後まで取り組もう。 - 作品制作だけでなく、鑑賞の授業や美術資料などから知識や技能を幅広く身につけ、多様な表現や発想ができるようにしよう。 - ワークシートなどで、自分が制作していく作品についてのテーマや構想をしっかりと考えて取り組んでいこう。 - 教科書・美術資料・ビデオ教材・生徒作品等を鑑賞し、ワークシートを使って自分の意見や感想を述べられるようにしよう。 - 授業開始時には、振り返り用紙に本時の自分のめあてを、授業終了時には授業内容を振り返り、制作上の疑問・反省、次回への取り組み方などを記入しよう。 <定期テストでは> - 授業中に配布されたプリントや範囲をしっかりと学習しなおす。 - テスト当日の持ち物を忘れないようにする。			
学習上の注意	- チャイム着席・作業の準備・後片付けがしっかりできるようにする。 - 授業の準備物を忘れない。 - 制作にあたっての説明をよく聞く。 - 私語を慎み、制作に集中する。 - 作品提出は期限を守る。 - 配布された資料などのプリントは、なくさないよう全てファイルにとじるようにする。 - 安全面に気をつけて制作する。 - 各自の制作に必要な資料や材料を準備し、制作に活かす。 - 他の人の作品を鑑賞し、作品の良いところを見つけてこれからの自分の作品に活かせるよう鑑賞する。			

学習内容および評価規準

学習計画			
	月	単 元 計 画	
一 学 期	4	オリエンテーション (想定画)	期 末
	5	レタリングの復習 デッサンの復習 デッサンの練習	
	6	ボックスアートについて ボックスアート案検討	
	7	ボックスアート作品制作 ポスターについて	
二 学 期	9	鑑賞 ボックスアート作品制作	期 末
	10	ライトスクラッチについて ライトスクラッチ案検討	
	11	ライトスクラッチ作品制作	
	12		
三 学 期	1	鑑賞 ライトスクラッチ作品制作	学 年 末
	2		
	3	3年間の美術科の作品鑑賞と ふりかえり	

評価にあたって		
評 価 の 観 点		評価の方法
知識・技能	形、色彩などの表し方や美術文化を理解しているか。 制作意図に応じて材料や用具の生かし方を考え、創意工夫して表現できたか。 材料や用具の特性などから制作の順序や効率などを考えながら見通しをもって表現できたか。 自分の目的を達成し、完成度の高い作品を制作することができたか。	プリント 作品 配色の工夫 着彩の工夫 テスト
	対象を見つめ感じ取った形・色彩の美しさや想像したこと から自分の表現したい主題を考えることができたか。 また、その主題をもとに構成を工夫し、心豊かに発想し、構想を練ることができたか。 美術文化に対する見方や感じ方を深めることができたか。	プリント アイデアスケッチ 技法や用具の使い方の工夫 テスト 作品 宿題
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動に喜びを感じ、意欲的に制作していたか。 課題と向き合い、深く考えて主体的に学習活動に取り組もうとしていたか。 制作に必要な資料や情報を集めて作品に活かそうしていたか。 プリントや作品を遅れずに提出できたか。	準備物 授業の様子 宿題 作品 技法や用具の使い方の工夫 プリント 毎時間ごとの振り返り用紙

第3学年 保健体育

学習教材および学習の進め方

使用教材	・教科書 新中学保健体育（学研） ・副教材 中学体育実技（三栄） ・学習のプリント（新学舎）	持ち物	・教科書 ・ファイル ・筆記用具 ・体育館シューズ
学習の進め方	<確かな学力を身につけるには> ・出席順で1番が列の基準になり、体育委員が号令をかけて整列させる。体育係が中心となり、授業の準備をおこなう。 ・まず、授業を進めるにあたって必要なこと（準備・片付け、初歩的なルールなど）を覚える。基本的なこと（動作や技術、戦術など）を練習する。さらに先生や友だちのアドバイスを参考にしながら、自分（たち）の課題（目標）を解決していくために、自ら進んで取り組み、考え・工夫しながら協力して練習や試合、記録計測をしていく。 ・全体の動きに機敏性を持たせる為に集団行動の徹底をはかる。 ・年間を通して準備運動を実施し、さらに補強運動をすることによって運動能力を高める。 ・忘れ物をなくし見学でもジャージに着替える。 ・先生の指示をよく守り安全に留意して運動できる。 <定期テストでは> ・定期テストを実施することにより、保健分野と体育理論の定着をはかる		
学習上の注意	・自分の能力を精一杯発揮し、最後まで粘り強く取り組む。 ・日頃から健康管理に努め、欠席・見学をしない。 ・指示をよく聞いて仲間と協力して活動（準備、片付け、練習など）し、周りの安全を考えて取り組む。 ・効果的で安全な活動をするため、基礎的な事柄（服装や身なりを整え、運動種目の規則を守るなど）に注意して取り組む。 ・体操服：夏服期間は半そで、ハーフパンツを着用する。 見学者にはウインドブレーカーの着用を認める。 *体調不良等、特別な理由がある場合は、マイプラやメモで連絡する。 ・保健体育の教科書、中学体育実技、ファイルは教室のロッカーにまとめておき、いつでも使えるようにする。		

学習内容および評価規準

学習計画				評価にあたって		
	月	単 元 計 画		評 価 の 観 点		評価の方法
一 学 期	4	体づくり運動	期 末	知 識 ・ 技 能	【体育分野】 ○知識 ・運動の技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、安全の確保の仕方について、言ったり、書き出したりしている。 ○技能 ・運動の特性に応じた基本的な記述や応用した技能ができる。 【保健分野】 ○知識 ・授業を通して、個人生活を中心として科学的に理解したことを言ったり、書き出したりしている。	実技テスト 定期テスト 学習カード
	5	(集団行動、ラジオ体操、体育祭練習、新体力テスト)				
	6	球技（バレーボール・テニス）				
	7	器械運動（マット） 陸上競技（幅跳び、高跳び） 保健分野 体育理論				
二 学 期	9	球技（卓球、テニスボール）	期 末	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	【体育分野】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えを他者に伝えている。 【保健分野】 ・授業を通して、個人生活における健康に関する課題を発見している。 ・健康に関する課題の解決を目指して科学的に思考し判断したことを他者に伝えている。	参加状況 授業の取り組み方 学習カード 定期テスト
	10	ダンス				
	11	陸上競技（長距離走）				
	12	球技（サッカー） 武道（剣道） 保健分野 体育理論				
三 学 期	1	球技（バド、卓球、	学 年 末	主 体 的 に 学 習 に 取 り 組 む 態 度	【体育分野】 ・運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。 【保健分野】 ・自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。	参加状況 授業の取り組み方 ラジオ体操 学習カード 提出物 発表
	2	ハンド、その他)				
	3	保健分野 体育理論				

第3学年 技術・家庭（技術分野）

学習教材および学習の進め方学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書【New 技術・家庭 技術分野（教育図書）】 ワークノート【技術分野ワークノート（教育図書）】	持ち物	・教科書 ・クロムブック ・ワークノート ・学習プリント
学習の進め方	<確かな学力を身につけるには> ○学習の課題をとらえ、課題の解決に向けて取り組もう。 ・わからないところ、できないところを明らかにし、学習活動や実習に取り組もう。 ○グループ学習では、疑問や意見を出し合い、互いに学び合おう。 ○実習では、安全面を考えながら、グループで協力して作業に取り組もう。 ○学習活動について、自己評価したり、互いに評価し合ったりしよう。 <家庭学習では> ○学校で学習したことや身につけた技術を生活に活かそう。 <定期試験では> ○授業中に学習した内容や実習内容等（教科書、学習プリント等）を復習し、学んだことを定着させよう。		
学習上の注意	○チャイムが鳴るまでに授業の準備をして席に着こう。 ○学習する内容は、学習プリントやデータにまとめよう。 ○授業での発問には、積極的に発表しよう。 ○グループ学習では、疑問や意見が出し合えるように協力して進めよう。 ○実習では、安全面に十分に気をつけて、けがのないように取り組もう。また、互いに教え合いながら協力して取り組もう。		

学習内容および評価規準

学習計画			
	月	単 元 計 画	
一 学 期	4	エネルギー変換に関する技術 作って学ぼう 1 エネルギー変換の技術	期 末
	5	2 電気に関する技術	
	6	3 機械に関する技術	
	7	4 実習の安全な進め方	
二 学 期	9	7 問題を解決する工夫 8 保守・点検の仕方	期 末
	10	9 電気の安全な使い方 10 発電について	
	11	じっくり学ぼう	
	12	設計に沿った製作	
三 学 期	1	学びを深め生かそう	学 年 末
	2	社会の発展とエネルギー変換の技術	
	3		

評価にあたって		
評 価 の 観 点		評価の方法
知識・技能	エネルギー変換の基礎的な技術の仕組みを理解している。 機器の保守・点検やエネルギーの安全な利用について理解している。 安全・適切に製作・実装することができ、製作品の動作点検及び調整ができる。	学習プリント 学習活動 実習 製品 定期テスト
	エネルギー変換の技術の見方・考え方を働かせて、生活の中から問題を見出して課題を設定している 課題を解決するために条件を踏まえて適切に使用部品を選択し、構想を具体化して設計や計画をまとめている 設計・計画に照らして製作の過程を評価、改善および修正している。	学習プリント 学習活動 実習 製品 定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	進んでエネルギー変換の技術とかかわり、主体的に理解し、技能を身につけようとしている。	学習プリント 学習活動
	自らの問題解決とその過程を振り返り、より良いものとなるよう他者と協働して粘り強く改善・修正しようとしている。	実習 製品 定期テスト

第3学年 技術・家庭（家庭分野）

学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書 NEW「技術・家庭」 家庭分野 東京書籍	持ち物	教科書 ファイル
学習の進め方	<確かな学力を身につけるには> ○わからないところ、できないところを明確にし、学習・実習をしよう。 ○授業で学習したことを家庭で実践するなど、反復学習しよう。 ○自分の良いところを伸ばし、苦手とすることにあえて挑戦しよう。 ○できるようになったこと、自分の成長したことに自信をもとう。 ○実習においては、安全面に気を付けて取り組もう。 <家庭学習では> ○家庭での仕事を手伝おう。 特に長期の休みに、家族の一員としていろいろな家庭での仕事を手伝うこと。夏休み・冬休みの課題にていねいに取り組もう。 <定期テストでは> ○テスト範囲は、テスト発表時に通知します。 ○授業中に学習したことをしっかり復習しておこう。 ○学習内容をよく復習しておこう。		
学習上の注意	○チャイムが鳴るまでに授業の準備をして席に着く。（持ち物は机の上に揃えて出しておく。） ○黒板に書いたことや気づいたことをプリントなどに工夫してまとめよう。 ○授業での発問やグループ活動などには、積極的に参加して発表しよう。 ○プリント・課題等の提出物は期日を守ろう。 ○調理室・被服室で授業を行う場合は、チャイムが鳴るまでに教室移動し準備しよう。 ○実習においては、目的と方法を理解し工夫して、けがのないように十分注意して取り組もう。 ○班活動では班員で仕事を分担し、能率よく協力して作業を行ったり、話し合いをしたりしよう。		

学習内容および評価規準

学習計画			
	月	単 元 計 画	
一 学 期	4	B編 6章 私たちの住生活	期 末
	5	1 住まいの働きを知ろう	
	6	2 家族が暮らしやすい住まい方を考えよう	
	7	3 健康を守る室内環境の整え方を考えよう	
	7	4 家庭内事故から家族を守ろう 5 災害に備えた住まい方について考えよう 食育 生活習慣病	
二 学 期	9	「家族の安全な住空間の整え方」について考え、工夫する	期 末
		C編 私たちの消費生活と環境	
		1章 私たちの消費生活	
	10	1 買い物を振り返ってみよう	
		2 買い物の法律的な意味を考えよう	
		3 いろいろな販売方法や支払い方法を知ろう	
		4 消費者トラブルを防ごう	
三 学 期	11	5 消費者を支える仕組みを知ろう	学 年 末
		2章 消費者の権利と責任	
	12	1 消費者の権利について考えよう	
		2 消費者の責任について考えよう	
		3 消費生活が社会に与える影響を考えよう 4 環境に及ぼす影響を考えて行動しよう	
三 学 期	1	B編 衣食住の生活	学 年 末
	2	3章 調理と食文化 3 調理の基礎を知ろう	
	3	8 和食の調理をしてみよう"	

評価にあたって		
評 価 の 観 点		評価の方法
知識・技能	・家庭の基本的な機能および家庭について理解できたか。 ・生活に必要な衣食住について理解し技能を身に付けたか。 ・幼児、高齢者について理解し技能を身に付けたか。 ・消費生活や環境に配慮したライフスタイルの確立について基礎的な理解をし、技能を身に付けたか。	・定期テスト ・ワークシートの内容 ・発表、発言 ・実習・課題の取り組み方 ・作品
	・生活課題について他の生活事象と関連付け、多角的に捉え解決策を考えることができたか。 ・実習や観察、交流活動の結果等について考察し、論理的に表現することができたか。 ・他者の意見との相違点や共通点から、計画・実践・について評価・改善することができたか。	・各活動への取り組み方 ・ワークシートの内容 ・実習・課題の取り組み方 ・作品
主体的に学習に取り組む態度	・地域の人々と関わり、協働しようとする態度を養っていたか。 ・生活を楽しみ、豊かさを味わい生活をよりよくしようとする態度を養っていたか。 ・日本の生活文化を継承しようとする態度を養っている。 ・将来の家庭生活や職業とのかかわりを考え、学習に取り組むことができたか。	・授業態度 ・各活動への取り組み方 ・ワークシートの内容 ・実習・課題の取り組み方 ・作品・課題の提出や記入状況 ・忘れ物 ・発表、発言

第3学年 英語

学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書：NEW HORIZON（東京書籍） 副教材：JOYFUL WORKBOOK 3（新学社）	持ち物	・教科書 ・ファイル（紫色） ・ジョイフルワーク ・ワークノート ・Chromebook
学習の進め方	<確かな学力を身につけるには> ○授業に集中し、教師の説明や話、指示をしっかりと聞き、授業の中で覚えるくらいの高い意識をもって授業に臨もう。そのために恥ずかしがらずに大きな声で音読する、教師の発音の真似をする、声に出して覚えるということを習慣化しよう。 ○授業で理解できたことと、理解できなかったことを、自分の中で明確にし、理解できなかったことは質問などをして、その日のうちに解消する努力をしよう。 <家庭学習では> ○予習として、単語調べ、本文写しをノートにしよう ○復習として「単語・本文・基本文が読めて、意味が言え、書ける」ように何度も反復練習しよう。 ○宿題は必ずその日のうちにしよう。ワークは答え合わせもしよう。 ○単語テストや小テストに向けての勉強も忘れずにしよう。 <定期テストでは> ○普段から確実に単語・本文・基本文法を復習しておこう。 ○テスト期間では試験範囲のユニットを計画的に、確実に見直そう。		
学習上の注意	○授業の準備を忘れない。 ○しっかりと声を出して単語や本文を読む練習をする。 ○ペア・グループワークなどの活動では教え合い、互いに高め合っていくこと。 ○ワークやノートの提出期限を守る。 ○授業以外の時間でも間違いをおそれず積極的に ALT に話しかける。		

学習内容および評価規準

学習計画			
	月	単 元 計 画	
一 学 期	4	0 Discover a New Side of Classmates 現在形や過去形、because などを用いて、自分のことを伝える	中 間
	5	1 What is special about Japanese pop culture? 現在完了形（経験用法）や SVOC・SVOO（that 節）を用いて、日本文化の魅力について伝える	
	6	2 How do you chose your clothes? 現在完了形（完了・継続用法）や現在完了進行形を用いて、今の状況や続いている状態・動作をたずね合う	期 末
	7	3 How can we save animals? It is...(for +人など)+to などを用いて、自分の意見や考えを加えて記事を書く	
二 学 期	9	Stage Activity1 これまでの経験をふり返って活動報告を発表する	中 間
	10	4 How can we help each other in a disaster? 間接疑問文、SVOO（what 節）や現在分詞・過去分詞を用いて、防災への取り組みについて話す	
	11	5 What makes a good leader? 名詞を修飾する文(接触節)や関係代名詞を用いて、詳しい情報を加えて人やものの説明する	
	12	Stage Activity2 これまでの経験をふり返って活動報告を発表する	
三 学 期	1	6 What does it mean to be a global citizen? 仮定法を用いて、現実とは異なる願い事などを伝える	期 末
	2	Stage Activity3 ディベートをする	
学 年 末	1	Let' s Read2 エネルギー問題の説明文を読んで自分の考えや意見を言う	学 年 末
	2	Let' s Read3 伝記を読み、人物の歩みや功績を読み取り、感想を述べる	

評価にあたって		
評 価 の 観 点		評価の方法
知識・技能	○単語の発音の違いなど聞き分けたり、文構造や文字、符号などを使い分けたりする基礎的な知識を身につけているか。 ○場面や状況にふさわしい基本的な表現を知っているか。 ○各単元に関わる文化や生活について理解して、それぞれの違いについて理解できているか。 ○英語のイントネーションや区切りなどを用いて音読したり話したりすることができるか。	・先生・生徒とのコミュニケーションの様子 ・音読テスト ・小テスト ・定期テスト
思考・判断・表現	○英文を聞いたり、読んだりして内容が正確に理解できるか。 ○学習した基本的な表現を用いて話したり、書いたりできるか ○学習した題材について自分の意見や考えを適切に言ったり、書いたりできるか。	・先生・生徒とのコミュニケーションの様子 ・宿題・課題の取組状況や提出物 ・小テスト ・定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	○自ら積極的に学習をしているか。 ○英語のコミュニケーション活動に積極的、協力的また興味を持って取り組んでいるか。 ○学んだ英語を進んで使ったり、意欲的に発言や質問をしたりしているか。	・先生・生徒とのコミュニケーションの様子 ・振り返りシート ・小テスト ・定期テスト

第3学年 道徳

学習教材および学習の進め方

使用教材	教科書：「あすを生きる3」（日本文教出版）	持ち物	・教科書 ノート 筆記用具
学習の進め方	＜確かな道徳的価値を身につけるには＞ ・最高学年として、公共の精神や国際社会への意識を高め、誇りと志のある生き方を目指して、現在ある課題や将来出会うであろうさまざまな場面について、主体的に考えましょう。 ・教科書と付属のノートのほか、プリント等を使います。		
学習上の注意	・自分のこととして考えることが大切です。あなたらしい誇りを持った生き方を考えましょう。 ・友達の見解を聞きましょう。対話や議論を通して、人として他者とともによりよく生きる方法をともに考えましょう。 ・さまざまな場面で主体的に判断ができるように、道徳的な価値観を身につけましょう。		

学習内容および評価について

学習計画		
	月	単 元 計 画
一 学 期	4	「相撲を世界に」 「世界一のロッカールーム」 「あるレジ打ちの女性」
	5	「No Charity, but a Chance!」 「使い手を驚かせて魅了する」 「違うんだよ、健司」
	6	「卒業証書最後の二行」 「命のトランジットビザ」 「エリカー奇跡のいのちー」 「私も高校生」
	7	「親友と語り合った「孤独の解消」」 「新しい夏の始まり」
二 学 期	9	「稲むらの火」 「命の大切さ」 「ゴリラのまねをした彼女を好きになった」 「カラフルな世界で」
	10	「二通の手紙」 「世界を動かした瞳」 「電車の中で」 「失った笑顔を取り戻す」
	11	「海のごみは「まちなか」で生まれる」 「「川端」のある暮らし」 「ちょっと寄り道を一研究者・眞鍋淑郎」 「町内会デビュー」
	12	「臓器提供」 「独りを慎む」
三 学 期	1	「マナーってなんだろう」 「星空を届けたい」 「本とペンで世界を変えよう」
	2	「生きてこそー石井筆子の生涯一」 「塩むすび」 「一冊のノート」 「キラー・ゼブラと呼ばれて」
	3	「サトシの一票」 「希望」

評価は各学期、文章評価で行います。